

平成26年7月16日(水)

第2回 雷別ドングリ倶楽部を開催

7月16日、「雷別ドングリ倶楽部」の第2回目の活動を行いました。今回は、粗朶束作り・設置と外来植物の除去です。

粗朶束は林地の表土流失対策として、「笹」を使って、長さ1.8m、太さ約60cmの大きさの束にしたもので、表土が浸食(エロージョン化)された箇所に、鍬で浅く溝を掘り、設置しました。会員の皆さんは、鍬の使いかたは玄人はだし。手際よく作業を進め予定箇所を粗朶束で覆うことができました。



現地で調達した「笹」



「笹」を集めて



手際よく「笹」を束ねて、粗朶束に



林地に溝を掘り、粗朶束を設置し、完成。

午後からは、外来植物の除去を行いました。

作業地へ繋がる道路沿線を歩きながら、当センターの所長が外来植物の名前、特徴や駆除の方法等の解説を行い、環境省が指定する要注意外来生物リストにあるオオアワダチソウやヒメジョオンの除去を行いました。